

第6回 尻別川流域治水協議会 議事概要

日 時：令和6年2月26日（月） 13：30 ～ 15：00

会 場：蘭越町山村開発センター

構成員：小樽開発建設部：部長(会長)

後志森林管理署：署長

後志総合振興局：局長

蘭越町：町長

ニセコ町：町長

真狩村：副村長（代理出席）

留寿都村：村長

喜茂別町：町長

京極町：町長

倶知安町：町長

森林整備センター北海道水源林整備事務所：所長

札幌管区气象台：気象防災部長

<議事内容>

1. 尻別川流域治水協議会の規約改定（案）について
2. これまでの経緯と今後の進め方について
3. 流域治水プロジェクトのフォローアップ及び更新について
4. 尻別川水系河川整備計画〔変更〕について
5. 流域治水プロジェクト2.0について
6. 意見交換
7. 流域治水の自分事化に向けた取組計画について
8. 情報提供について

<主な意見等>

1. 尻別川流域治水協議会の規約改定（案）について
規約の変更について、承認された。
意見等なし
2. これまでの経緯と今後の進め方について
意見等なし
3. 流域治水プロジェクトのフォローアップ及び更新について
意見等なし

4. 尻別川水系河川整備計画〔変更〕について

意見等なし

5. 流域治水プロジェクト 2.0 について

質問等

後志森林管理署：気候変動による気温上昇が 2℃ の場合、降雨量が 1.1 倍、流量が 1.2 倍になるというこの差の原因についてわかる範囲で教えてほしい。

事務局：こちらは全国的に試算した結果であり、全国的には降雨量が 1.1 倍、北海道では 1.15 倍で流量に関しては 1.2 倍になる。今回、尻別川では 1.3 倍となっている。

札幌管区气象台：雨が増えると、地面の中に浸透する水の量が限られているので地面を流れる水の量が増えて川に集まり流量が増えると考えていただければいい。

6. 意見交換

後志森林管理署：この地域でも降雨によっては、急激に流量が増えることがあり得るため、森林整備が必要と認識しており整備を進めていきたい。また、各市町村で行なっている森林整備についても、技術的などころも含め協力していきたい。

後志総合振興局：気象条件が大変厳しくなっていく中、構成員それぞれが縦割りではなく連携していくことが重要だと再認識した。先程の報告のように振興局の取組は限定的だが、今回の報告のように農業農村整備が河川の保全だけではなく多面的な要素があることも改めて認識している。また、市町村の皆様へ防災教育、防災意識の向上に向けた助言や支援等をしっかりとやっていきたい。

蘭越町：尻別川の最下流にあり、これまでもゲリラ豪雨や融雪による河川の氾濫があり、地域で一番リスクの高い町であるが、災害が減ったことで災害を経験した町民が少ないことが課題であり、特に大人への危機感を醸成するような防災教育が非常に重要であると考えているので、ご指導いただきたい。

ニセコ町：今後、集中豪雨等を踏まえ雨量観測体制の充実を図りたいと考えているのでご指導いただきたい。過去の災害では避難勧告から避難完了まで夜間であったこともあり、かなり時間を要したので訓練を重ねていく必要があると考えている。

- 真狩村 : ここ数年短時間での雨量が大変強くなっており、令和4年度には24年ぶりに知来別川が氾濫した。今後はこのような近年の雨量強度に配慮した対策が必要になると感じている。
- 留寿都村 : 小学校の防災教育や防災アプリの導入等、防災意識は高いが災害が多くないので安心しているところがある。今後は、万が一に備えた住民参加の防災訓練の実施や農村景観の保全が防災、流域治水につながるものが共通の理解として広まれば良いと考えている。また、沈砂池の整備、農村農地再編整備等の対応もあわせて実施していきたい。
- 喜茂別町 : 隣接する伊達市大滝区の雨の情報等、气象台からの情報提供に感謝している。融雪期の早まりは本当に実感をしており、農家の方も同意見で今後も更なる情報提供等をお願いしたい。防災訓練・対応等は建設関係の業者との連携、協力が重要なことから、建設関係の担い手の確保についても、様々な形でご協力をお願いしたい。喜茂別町は大変高齢化率が高い状況であるため、要配慮者への個別避難計画の作成や、尻別川、喜茂別川の氾濫を想定した実効性のある避難訓練も進めていきたい。
- 京極町 : 北海道による釜場整備などの内水対策等、横の連携を取りながら対策を実施できたことに感謝している。災害については融雪が心配されるため、河川の点検等を引き続き実施したい。また、子ども向けの防災学校も実施しているが、今後は子供の力も借りながら高齢者の防災対策をしていくことが必要と感じている。
- 倶知安町 : 気候変動のデータやそれを踏まえた計画変更に関する情報を認識することができ大変有意義だった。国際リゾートを目指す上で参考になった。この地域はスノーリゾートとして世界中から注目をされているが、夏の尻別川の豊かさ、ラフティングを楽しむことができること等、引き続き自然との共存を考えていくことが重要である。
- 森林整備センター : 気候変動により降雨量、流量とも増えると試算されておりますので、森林整備を実施して、木の成長を促進し保水力を高めていくことが重要と感じている。今後も計画的に除伐や間伐等を実施して流域治水に貢献していきたい。
- 札幌管区气象台 : 流域治水に関しては、昨年5月に気象業務法と水防法が改正され、道管理区間に対しても国が水位の予測を提供可能となった。我々は雨量をしつ

かり予測することで貢献できると思っている。今後、「流域治水の自分事化」が重要なキーワードになるため、気象台も地域の住民の方と一緒に自分事に対して協力をしていきたいと考えている。

小樽開発建設部：本日は関係機関の流域治水の取組と、河川整備計画を変更する過程で揃えたデータも共有をさせていただき、流域治水の重要性を改めて考える機会になったと思う。特に皆さんから共通のご意見としては、災害が少なくなるとして災害を経験している方が少ない、要配慮者への対応、住民の防災訓練への参加、災害を自分事として捉えるなど、防災教育、防災訓練等、我々と連携できる部分があると思うので、このような場を通じてより良い形で取り組めるようにしていきたい。また、環境への配慮や農村景観、国際リゾートについてもお話を頂いたが、尻別川の豊かさ、この河川が有する資源、景観等も尻別川の大切な価値と考えており、治水だけではなく、平時においても尻別川がこの地域の中でその価値を発揮できるよう、引き続き皆様とこのような場を通じて連携をしていきたい。

7. 流域治水の自分事化に向けた取組計画について

意見等なし

8. 情報提供について

意見等なし